西東京市市民協働推進センター

平成 27 年度第 11 回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成 28 年 3 月 15 日(火)午後 7 時 00 分～9 時 20 分
■開催場所：イングビル 3 階第 1、2 会議室
■出席委員：池田委員、熊田委員、小松委員、紺野委員、佐藤(文)委員、田中(紀)委員、谷委員、富沢委員、中村委員、藤江委員＜以上 10 名、五十音順＞
■事務局　：内田センター長、佐藤副センター長、丸木福祉活動推進課長、石井地域福祉推進係長、塚澤主事

1. 報　告　事　項

1. 業務報告について

事務局より、2 月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があった。

副委員長：相談記録の中で市職員の相談があるが、どういうことか。

事務局：東京都から生活福祉課に問い合わせがあり、「子ども食堂」に関する市内の情報を伝えてもよいかという相談だった。

2. 3 月以降の事業について

事務局より、3 月以降の実施事業について説明があった。特に質疑はなかった。

3. 来年度の運営委員会委員について

事務局より、平成 28 年度西東京市市民協働推進センター運営委員会委員名簿について説明があった。特に質疑はなかった。

4. 来年度の事業計画及び活動計画について

事務局より平成 28 年度西東京市市民協働推進センター事業計画について説明があった。

副委員長：前回、審議し修正していただいた今回の来年度事業計画に対して、特に意見がないようなので、市役所に提出していただきたい。

事務局より平成 28 年度西東京市市民協働推進センター活動計画案について説明があった。

委　員：地域活動サロンとオープン・コラボ講座について説明してほしい。

事務局：地域活動サロンは昨年 10 月からゆめサロンの位置づけで始めた。一般市民の参加者に地域活動を知っていただき、興味を持って、最終的には地域活動に参加していただくために、団体の活動拠点をめぐりながら、実際の団体活動や活動紹介を見てまわるという企画を地域活動サロンと名付けた。場所的には昨年度は田無駅地域で実施したので、来年度は春に保谷地区、秋には柳沢地域で開催したいと考えている。今年度はいろいろなテーマで地域デビューシリーズを行ったが、その中でも地域活動の拠点をまわる「まちめぐり」は特に好評を得たため、来年度も継続することとした。

委　員：「まちめぐり」はミディサロンの一環ではなかったのか。

事務局：今年度は、男性だけでなく、より多くの女性にも参加を促したいと考え、第1回の地域デビューシリーズとして、ゆめこらぼミディ講座という勉強会を開催した。この地域デビューシリーズでは健康、文化活動、農業体験、まちめぐりなどいろいろな観点から企画した。結果的に、地域活動まちめぐりの企画への関心が高く、継続する価値があると判断した。

委　員：「おとぱミディサロン」の流れか。

事務局：「おとぱミディサロン」とは、今年度の地域デビューシリーズの参加経験者に継続してゆめこらぼまで来ていただき、話し合いなどをしていただくサロンである。

3月に開催する第1回目となるオープン・コラボ講座では、全体的な話をしてもらう予定である。7月に予定している第2回目では、子育て向けのものを考えている。具体的に子育てにかかわるアプリケーションを子育て世代に紹介し興味を持っていただき担い手となっていただけるような講座にしていきたい。

委　員：地域活動サロンとオープン・コラボ講座は事業計画ではどの事業になるのか。

事務局：地域活動サロンはゆめサロンの実施、オープン・コラボ講座は講座・セミナーの開催の事業内容となり、いずれも人材、団体育成・研修事業になる。

副委員長：「おとぱミディサロンはお父さんお帰りなさいパーティ」のミニ版と考えればよいのか。あるいは、地域デビューシリーズの卒業生の集まりと考えればよいのか。今後、自主的な集まりとするのか。あるいは、ゆめこらぼがついていく形を目指すのか。

事務局：今年度の卒業生をはじめ、新規の参加者も加わったサロンを考えている。この2，3年はゆめこらぼがフォローする体制で開催する予定である。サロンとして何かをするというより、ゆくゆくはサロンをきっかけに各団体の活動に参加していただきたいと考えている。

2. 審　議　事　項

1. 前回の会議録について

副委員長：指摘のあった箇所を訂正していただき、今週末までに意見がなければ、確定稿とする。

2. 今年度事業報告について

事務局より平成27年度西東京市市民協働推進センター事業報告案について説明があった。

委　員：販促品であるひまわり石鹸は、意味があったのか。

事務局：NPO市民フェスティバルの来場者増につながったと言える。また、アンケート結果からは来場した方が市民活動に興味を持ったとの意見も多かった。石鹸の使用感は好評と聞いている。

委　員：決定したキャッチコピーを具体的に記載してはどうか。販促品の個数の記述も必要だと思う。研修も日程だけでなく内容を記載してはどうか。NPO市民フェスティバルの会場変更についても、具体的に場所を明記してはどうか。まちづくり円卓会議は、回数の確認をして欲しい。地域デビューとしてシリーズ化したことは画期的なことで、他市から関心を集めたということを記載してPRの材料にしてはどうか。

委　員：前文に、「戦略の検討を実施した」とあるが検討した内容が分からない。確実に成果を出しているので、具体的に記述して意味が通じるよう修正して欲しい。

委　員：今後の運営委員会の議題として、「防災」を取り上げて欲しいというのは唐突に感じる。どういうことか。

事務局：運営委員会のあり方を協議した際に、地域の課題として防災に関しても問題意識を持ったほうが良いのではないかという意見があった。
委　員：事業報告書はこういう形式なのか。全体的に捉えた評価や将来像から見た評価はしないのか。
事務局：前文の箇所は不十分なのかもしれないが、あくまでもこの報告は今年度の計画に対しての結果をとりまとめたものである。
事務局：社協として総括的なこの報告書で表している。
委　員：情報収集・提供事業の中で近隣6市との情報交換会の進め方についてだが、広域連携の情報はめったに聞けないのでできる範囲で具体的に記載して欲しい。
副委員長：平成27年度報告で開館時間の変更があったが、変更して支障がなかったのならその旨の記載をして欲しい。出された意見を盛り込んで修正したものを事務局一任で提出することとする。

3. 広報・PR事業について

事務局よりホームページのリニューアル案について説明があった。
委　員：前回より硬さがなくなって柔らかい表現になりよくなっていると思う。
委　員：特技という表現が使われているが、ハードルが高いと感じる。
事務局：高いハードルの印象を受けるような文言は避け、言葉のトーンを揃えることとする。
委　員：本日、審議する内容はこの場でコンテンツ構成を固めたら、4月以降は発注する流れになるのか。委員会がウェブサイトについて議論できるのは今日が最後なのか。
事務局：そうではないが、この資料をベースに個別にご意見をいただきたい。仕様を提出するのは5月くらいになるので、その間までにいろいろご意見をいただければありがたい。
委　員：新規追加分とあるが、前回の資料にはQ&Aの項目だけがあったと記憶している。全部がQ&Aの方式になるということなのか。あるいは、このような要素が入るということなのか。
事務局：新規追加分とあるのは、既存のものの構成を見直して、ゆめこらぼおよび登録団体に関する情報は組み替える。前回、議論があった内容は、毎回更新する必要があるものではないのでQ&A方式で今回の資料とした。
委　員：文言などについては、後々変更できる範囲だと思う。次回4月にサイトマップを提案してもらえれば、委員も意見が出やすいのではないか。
事務局：不十分だったかもしれないが、サイトマップ構成は前回、大枠で承認されたという認識だ。
委　員：新規追加分はサイトマップの一部という認識が共有されていないのではないか。
委　員：Q&Aに関しての素朴な疑問だが、質問が一つ一つ重く本質的なものもあるので、事務局だけで回答するのは難しいのではないか。そういう意味での検討も考えられる。
委　員：「行政の方へ」という項目だが、どの部分の人を対象としているのか。
事務局：西東京市の行政の方を対象に考えている。
委　員：あえて言う必要がないと考える。
副委員長：この審議に関して前回の会議録によると、コンテンツ構成に関する共通認識の記録はなく、まだ承認されていないと考えられる。事務局から出されたコンテンツ構成の一案に対して、ご意見を出していただき、スケジュール的に許されるのであれば、次回、大枠から決めていきたいと考える。

事務局：スケジュール的にはかなりタイトになるが、次回には確実に決めていただきたい。
事務局：キーワードに関して補足だが、99パーセントの人が「ゆめこらぼ」で検索している。
今回提示しているような質問がらみからの検索はなかった。
委　員：トップページではなく、コンテンツを通して訪問してきた人がどんなキーワードで入ってきたのかを分析することは大変に重要だと思うので、ぜひ業者に確認してほしい。
副委員長：どのような言葉で検索されたいかを考えることが重要で、そのためにキーワードの解析が重要と考える。
委　員：ゆめこらぼの中身を知りたい人や何をするところで何ができるのかを勉強したいと思っている人であれば、このくらいのことは知りたいと思う。検索でたどり着くことより、何をしてくれるところなのかを知るためのウェブサイトではないか。
委　員：「行政の方へ」の中の、NPOとは？とかNGOとは？などの質問は不必要と考える。
事務局：ゆめこらぼのウェブサイトに関して本質的な議論を頂いているが、事務局の事務作業のタイムリミットの問題もあるので本日中に項目だけでも、コンテンツ構成の大枠も含めて、確認をしていただきたい。具体的な内容に関しては次回に決めていただきたい。
副委員長：コンテンツ構成の大枠で特に問題がないという認識でよいか。
委　員：大枠での問題はないのではないかと思う。
委　員：市民活動に熱心な方向けのように感じる。市民活動に馴染みのない人に対しての視点は、欠落していると感じる。ゆめこらぼとして、どのような人に見て欲しいのかを考えることは大切である。これから活動をしたい人に見て欲しいという設計思想を持っているのか。
事務局：そういった思想で考えたつもりだったが、具体的に案があれば出していただきたい。
副委員長：これから市民活動を始める方への視点を入れたものを次回提出してほしい。
大枠での構成を本日中に確認していただきたい。
委　員：分類としての区分そのものが最適かどうかを検討する余地があると考える。タイムリミットがあるので、一週間以内に区分案を事務局に提出し、委員各位に諮ることを提案したい。
委　員：タイムリミットもあるが、この案以外のものがあるのであれば、ゆめこらぼのウェブサイトとして望ましいか比較したい。是非ご提案していただきたい。
事務局：次回に事務局案、提出していただく案、2案の融合案から、選択していただくこととしたい。
委　員：ゆめこらぼには、ある程度の知識のある人が来ると思うので、このくらいの項目だけであれば問題ないと考える。
委　員：前回の討議である程度納得しているので、大枠でいいのではないかと思う。もう一つコンテンツを加えてよくなるのであれば、そのことを討議すればよいと思う。今日、大枠での合意を得られるのであれば、事務局にその先の作業を進めていただければよいのではないか。提出していただく案もその大枠案に合流できればよいのではないか。
委　員：ウェブサイトに来てほしい人が、ある程度の予備知識のある人に特化するのであれば、この項目で良いと思う。もし、全く予備知識のない人も対象に入れるのであれば、このサイトの構成を変えたいと思う。この点をこの場で共有したい。対象をはっきりした方がわかり易いウェブサイトになると考える。
副委員長：そもそも何のためにウェブサイトをリニューアルするのかを考えたい。
事務局：次回委員会で確実に決定できるのであれば、時間的にはなんとか間に合うと思う。是非、ご意見を伺いたい。

副委員長：今回はこの件に関して審議することはできなかったが、次回４月の委員会で事務局案、提出していただく案、融合案の大枠を出していただき、審議することとする。

3. 協　議　事　項

1. 来年度の事業運営について

事務局より西東京市市民協働推進センター運営委員会の進め方について説明があった。

副委員長：時間がないが、これについては本日決めなければならないか。

委　員：次回に回してはどうか。

事務局：決定は次回でもよいが、できれば本日ここで協議していただき、意見があれば出して欲しい。

委　員：重要なことについてはこの場で決定するまで審議するのか。

事務局：審議だけでなく、協議の場合もある。今まで審議にかけているのは主に会議録である。

委　員：事務局案で良いのではないか。すべてを審議にかけなくてもよいと考える。定型の業務は決まっているので、事務局の判断でも構わないと思う。

副委員長：「運営委員会に付議しない」とある部分は「事務局に一任」にするという表現ではいけないのか。

事務局：「事務局に一任」に表現を変更することとする。

副委員長：委員長が決めることなので次回決定することとする。文言など意見があれば今週中に事務局まで連絡してほしい。

4. そ　の　他

1. 次回運営委員会日程について

日時：4 月 19 日（火）19 時～21 時

会場：イングビル 3 階　第 1 会議室